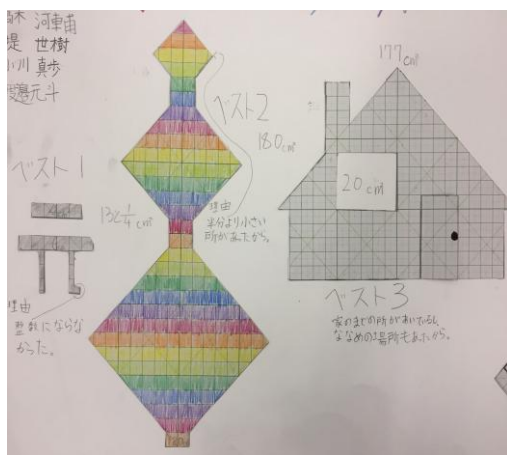


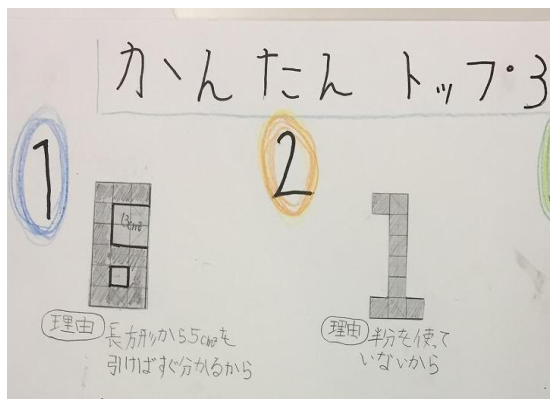
## オーブンプラン4年生 算数 「たて×よこって？」

1 cm四方の正方形1つ分の広さが1 cm<sup>2</sup>と学習した後、子どもたちが方眼用紙に自由に作図する時間を取りました。その時の図形をグループごとに、面積が「わかりやすいベスト3」「わかりにくいベスト3」にまとめたポスターを作り、発表も行いました。この時点では「たて×よこ」の公式を子どもたちは知らないで、一辺1 cmの正方形がいくつ並べられるかをもとに考えます。



子どもたちは、各自持ち寄った図形をもとに、真剣に議論します。「これは穴が開いているから難しいよ。」「斜め(0.5 cm<sup>2</sup>)があるから大変。」自分が作った物なので、根拠が明確です。

しかし、自分の意見を押し付けるのではなく、仲間の意見にも真剣に耳を傾けていました。納得できる意見には「ほんとだね！じゃあランクインさせよう！」と、素直に認める姿が見られました。自分の考えを根拠とともに伝え、またその良さを認め合えるという、集団の良さを感じました。



議論や発表の中で、「これはマス目のかけ算でできるよ！」という声が自然に生まれました。また、一見複雑そうに見える図形にも「この部分を動かせば、かけ算でできるよ！」「かけ算して、この部分を後から引けば…」という見方が生まれ、自分のグループになかった発想も、発表を通して共有し合えました。最終的に「正方形や長方形はかけ算でわかるから簡単」とまとまりました。



公式を学ぶ前に、工夫すればかけ算で面積が求められるということを子どもたち自身で突き止めました。この後で「たて×よこ＝面積」という公式をまとめました。子どもたち自身が発見し、共有し合う姿を大切にしています。